



大鹿歌舞伎春の定期公演が開催されました!

大鹿村に300年以上伝承され、国の重要無形民俗文化財に指定されている「大鹿歌舞伎春の定期公演」が5月3日、大磧神社にて開催されました。



昨年秋の定期公演までは、新型コロナウイルスの影響でオンライン配信や人数を制限しての開催でしたが、多くの方々が来場され、観客席からおひねりが飛び交い、掛け声や食事もできるようになりました。舞台と客席が一体となりかつての賑わいが戻ってきました。

冬の奥州を舞台に源氏への復讐（ふくしゅう）を図る豪族の悲壮な物語を熱演しました。前半では、実家の敵方の安倍貞任と駆け落ちした袖萩が、一人娘のお君に手を引かれ、両親の家を訪ねるが、対面が許されず、せめて声を届けようと、祭文を弾き語ります。後半では、安倍貞任と弟の安倍宗任に、袖萩の姉である敷妙の夫、八幡太郎義家が対峙する場面が繰り広げられました。



演目 「奥州安達原 袖萩祭文の段」

おうしゅうあだちがはら そではぎさいもんのだん

迫力ある六方や大見えを披露すると、「よっ!」「いいぞ」と大きな歓声上がり、無数のおひねりが舞い上がりました!



大雨後の河川の色の違いが見られました！

5月7日・8日には最近にしては大雨となり大鹿村でも2日間の累計雨量が約110mmほどのまとまった雨となり各河川でも増水しました。大鹿村の川の水が全部集まる小渋川・鹿塩川の合流点では、河川によって色の違う川の水が合わさる光景が見られました。小渋川は、黒く濁り鹿塩川は、茶色く濁った水です。川の源流や支流の地質の違いも感じるこのできる光景でした。6月は、梅雨時期となり川の急な増水も考えられますのでご注意ください。

小渋川・鹿塩川合流点
黒く濁った水と茶色く濁った水が合わさります。

小渋川：雨により
黒色に濁った川

鹿塩川：雨により
茶色に濁った川



小渋川

鹿塩川

合流点方向

合流点方向

6月は、「土砂災害防止月間」です。 土砂災害から身を守るために知っていただきたいこと

土砂災害から身を守るために、台風や大雨の際には、**土砂災害に注意してください**

土砂災害は、予測が難しい災害ですが、土砂災害から身を守るために国民の皆様を知っていただきたい3つのことについてお知らせします。

台風が来る前に
雨が降る前に

雨が降り始めたら

豪雨になる前に

①お住まいの場所が、土砂災害危険箇所か確認する。

②土砂災害警戒情報や雨量観測所の情報に注意する。

③大雨時や土砂災害警戒情報が発表された際には早めに避難する。
夜間に大雨が予想される際は暗くなる前に避難する。

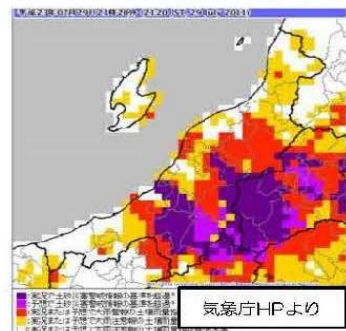
土砂災害の約6割は、「土砂災害危険箇所」で発生します。普段からお住まいの場所が土砂災害危険箇所にあるかどうか確認しましょう。お住まいの市町村役場に問い合わせてください。
※ただし、土砂災害は、土砂災害危険箇所以外でも発生します。

大雨による土砂災害発生危険度が高まったときには「土砂災害警戒情報」が発表されます。雨が降り出したら雨雲の動きと土砂災害警戒情報に注意しましょう。
土砂災害警戒情報は、気象庁ホームページ、国土交通省砂防部ホームページ、各都道府県の砂防課などのホームページで確認できます。都道府県によっては、携帯電話等に自動的に土砂災害警戒情報を連絡するサービスもありますのでご活用ください。

がけ下や溪流沿いなどにお住まいの方は、大雨の際や土砂災害警戒情報が発表された際には、早めに近くの避難所などの安全な場所に避難しましょう。
また、夜間に大雨が予想される際には、暗くなる前に避難をすることがより安全です。お住まいの自治体の避難勧告などの情報に従い、早めの避難を心がけましょう。
なお、豪雨などで避難所への避難が困難な際は、必ずしも安全ではありませんが、近くの頑丈な建物の二階以上に緊急避難したり、さらに困難な際は、家の中のがけから離れた部屋や二階などに避難しましょう。



土砂災害警戒判定メッシュ情報



テレビ報道



出典：政府広報オンライン



避難